



重要文化財江川邸 藤井 孝俊さん
江川文庫 統括主任

大河ドラマ『篤姫』のロケで、出演を依頼され、江川邸の宣伝になればと思い参加しました。役は、朝もやの中で表門を掃除する使用人の役。NHKのディレクターも、「この作品に関わらず、江川邸をまた使いたい」と言ってくれました。

今後も、いろんなロケに協力して行きたいと思います。



ホテルサンパレー伊豆長岡 秋山 治良さん
営業部 部長

大河ドラマ『篤姫』ロケの際、スタッフやエキストラの劇団員さんら3泊延べ300人にご利用いただきました。ロケ隊の皆さんは、朝7時前に出発して遅い人は夜中の12時すぎに帰ってくるという感じでしたが、大変マナーのよいお客様でした。またロケがあったときは、積極的に受け入れたいと思っています。



中伊豆青年会議所 山本 博之さん
まちづくり委員会 委員長

地域の皆さんがまちづくりに興味を持ってもらうきっかけになればと、映画『少林少女』のエキストラ募集を引き受けました。ロケ当日は人だけでなく、野菜などの小道具も調達しました。

ロケには多くの方が興味を持ってくれたので、チャンスがあればまた協力したいです。



映画『少林少女』プロデューサー 白井 裕詞さん
(フジテレビ映画事業局副部長)

伊豆は東京から近く、ロケのポイントが、山あり、川あり、海ありで、とてもバランスがいいところ。私たちは今まで、ロケ地を探して日本全国を飛び回っていましたが、今回、『日本の原風景』は、必ずしも遠くへ行かなくてもある、ということを確認しました。



市民エキストラ 安立 源さん
(葦山時代劇場付属劇団)

今回は大河ドラマ『篤姫』に、武者行列の一人で参加しました。劇団には、FCからエキストラの要請がたびたびあるので、過去にも何度か出演したことがあります。

劇団でも芝居をしていますが、メイクさんや衣装さんがわざわざ変身させてくれるので、まるで別世界ですね。

一つの映像を作ることの大変さもわかるし、普段知ることのない別世界の体験ができるのが、エキストラの面白さですね。



映画やドラマのロケには、多くの方が関わります。

そこで、今まで伊豆の国市内でのロケに関わってきた、あんな人やこんな人にお話を伺いました。



伊豆の国市消防団大仁方面隊
第4・第8分団の皆さん

映画『少林少女』の田中山ロケで、道場を燃やすシーンに立ち会いました。夜中の1時から待機して3時半に火をつけ、撮影自体は5分程度。その後消火活動をして、終わったのは明け方の4時でした。大変でしたが、柴咲コウさんを間近で見たり、江口洋介さんがむいてくれた焼き芋をもらったりと、貴重な体験ができました。



大仁駅前商店街 小宮 里美さん
スナック夕鶴

私のお店が、ドラマ『あいくるしい』の中で、桜井幸子さんのスナック『夕鶴』という設定で使われました。当時、私の店は『花あかり』という名前でしたが、ロケ隊が作った撮影用看板がいい雰囲気だったので、撮影終了後にドラマと同じ名前に改名しました。今でもとても気に入っています。



市民エキストラ 諸伏 宗年さん(右)
(伊豆の国市老人会大仁支部) 西島 静江さん(左)

映画『少林少女』に、老人会代表として、電車の乗客役のエキストラで参加しました。演技の経験はなかったですが、服装も普段着だし、ただ電車から降りてくるだけの役だったので、緊張する間もなかったですね。劇場公開したら、家族で見に行きたいと思います。



伊豆箱根鉄道株式会社 高杉 泰美さん
業務管理部 広報課長

ドラマ『あいくるしい』や、映画『少林少女』の、原木駅での撮影に立ち会いました。原木駅は、昔からの趣が残っているので、多くの映像関係者から問い合わせを受けます。

今後も、伊豆地域の活性化のお手伝いができる、と思っています。もちろん、安全第一で、一般のお客様にご迷惑がかからないように、これからも協力していきたいです。